

皮膚科

自分の目で見て診断がつく楽しさ!! 多彩な皮膚疾患が経験できます!

当院は広島市の中心部に位置し、地域の中核的な病院であるとともに一次から三次までの救急医療を担っています。そのためアトピー性皮膚炎や带状疱疹といったありふれた疾患から、ステーブス・ジョンソン症候群や壊死性筋膜炎、皮膚悪性腫瘍、自己免疫性水疱症などの重症疾患まで皮膚科専門医を目指すには十分な幅広い皮膚疾患が経験できます。



【実績】

日本皮膚科学会認定の専門医研修施設であり H30 年度の皮膚科年間外来受診者数は 8,847 名、延べ入院患者数は 1110 名、年間手術件数は入院・外来あわせて 193 件、年間エコー施行件数は 353 件となっています。

【特徴】

37 診療科 743 床を有する当院は、他科との連携が強くまた各診療科間の垣根が低いのが特徴です。入院・外来をあわせた皮膚科コンサルテーション件数は 1 年間で約 1,500 件と多く、先天性魚鱗癬などの新生児疾患、SLE や皮膚筋炎などの膠原病、アナフィラキシーやトキシックショック症候群等の救命救急疾患など各科と連携した診断・治療を経験することができます。

また地域がん診療拠点病院、エイズ治療中核拠点病院でもあることからがんの集学的治療やメラノーマの抗 PD-1 抗体による分子標的治療、他科との合同手術、HIV 患者の連携などもスムーズに行われています。

指導医からの一言

戸井 洋一郎 皮膚科主任部長

当科の医師は常勤 3 名、非常勤 3 名、専攻医 1 名であり、その中で皮膚科専門医 3 名、アレルギー専門医 1 名と密度の濃い指導体制となっています。火曜日のカンファレンスでは、臨床所見や病理所見をつきあわせてアットホームな雰囲気の中で症例検討を行っています。同時に皮膚の超音波検査や乾癬・アトピー性皮膚炎の生物学的製剤療法、メラノーマの免疫チェックポイント阻害剤、BRAF+MEK 阻害剤治療など最先端の皮膚科も学べます。

後期研修では皮膚科だけでなく形成外科、病理診断部でも診断、治療、手術に参加しバランスの良い研修が行えます。

症例の豊富さ、充実した研修環境、わからないところはすぐに教えてもらえる連携のスムーズさなど知識や技術が自然に身につく、研修医にとってはやりがいのある環境です。皮膚科に興味のある方はぜひ一度見学に来てみてください。

◇私が皮膚科を選んだ理由◇

学生実習で、皮膚症状を契機に骨髄異型症候群と診断された患者様や糖尿病や膠原病に関する皮膚症状で治療されている患者様に会い、全身の症状が現れる皮膚科に興味を持ちました。病理所見を実際に確認して診断をしたり、内科・外科的治療によって症状経過を実際に目で診ることができる点も皮膚科ならではの魅力だと思います。当院の皮膚科では幅広い疾患に携わることができ、また病理部とも連携しているのでとても充実した研修生活を送っています。

進路として皮膚科を考えている方にとってもそうでない方にとっても、きっと将来役に立つ経験をして頂けると思います。そして研修を通じて、是非皮膚科の奥深さを知っていただけたら嬉しいです。

伊藤 真未 (H30 年度専攻医)